

5種混合予防接種説明書（令和6年4月から開始）

（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ・ヒブの5種類のワクチンが含まれています）

●対象者・・・

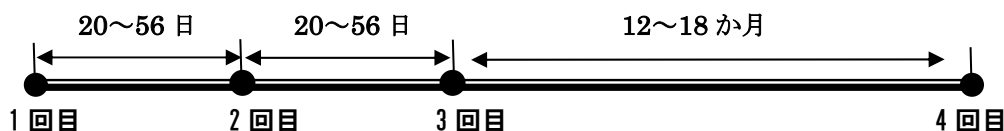
生後2か月～7歳6か月の誕生日 の前日までの間に4回接種

※ジフテリア、百日咳、破傷風のいずれかにかかった場合も接種することができます。

※原則として同じワクチンを4回接種します。

●接種間隔・・・

20日以上の間隔をおいて3回（1期初回）接種し、3回目を接種してから約1年後に4回目（1期追加）を接種します。3回目を接種後6ヶ月以上あけると4回目を接種可能です。



（7歳6か月になるまでに4回目を接種）

●副反応・・・

接種部位の発赤・腫脹などの局所反応、発熱がみられることがあります。
また、まれにショック・アナフィラキシー様症状があらわれる事があります。



～ジフテリアとは～ ジフテリア菌が咳やくしゃみなどで空気中に飛び散ること（飛沫感染）で感染が起こります。症状は高熱・のどの痛み・犬吠様の咳・嘔吐などで、窒息死することもあります。発病2～3週間後には菌の出す毒素により、心筋障害や神経麻痺を起こすことがあり危険です。ジフテリアに感染しても90%は何の症状もなく保菌者となりその人を通じて感染することもあります。

～百日咳とは～ 百日咳菌が咳やくしゃみなどで空気中に飛び散ることによって感染が起こります。百日咳は、風邪のような症状で始まり、咳がひどくなっていきます。咳のあと急に息を吸い込むので、笛を吹くような音が出ます。乳幼児では、咳で呼吸困難になることが多く、肺炎や脳炎などの重い症状を併発することがあります。

～ヒブ (hib) とは～ インフルエンザ菌b型による感染症
特に細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症や蜂窩織炎、関節炎
喉頭蓋炎などに感染する可能性があります。

～破傷風とは～ 土の中に潜んでいる破傷菌が傷口から感染して起こります。気づかない程度の軽い傷のときもありますが、傷口から体の中に菌が入り増えると菌の出す毒素のため、けいれんや口が開かない等の症状が起こり、処置が遅れると生命に関わることがあります。破傷風菌は日本中のどこの土中にもいて、感染する可能性があります。

～ポリオとは～ 小児マヒと呼ばれる病気です。感染の初期には風邪のような症状ですが、感染者のなかで、約1000人～2000人に一人の割合で麻痺が起こり、一部の人に後遺症として残ることがあります。